# Ⅲ　1本釣漁場調査

沖縄の１本釣漁業はこゝ数年来２０００トン台の生産高を維持し、沿近海漁業中、カツオ漁業に次ぐ重要な漁業となっていたが、１９６８年の生産高は１８００トンに減少した。これは近年漁船、設備等の性能が増強されつつある状況から考えた場合、単位漁獲量が減少しているので決して楽観すべき趨勢とはいえない。

今後生産の増大を図るためには新漁場の開発、漁具の改良開発と併せ漁場実態把握による能率的操業が必要である。

このような見地から漁場の環境、対象資源及びその分布状況、既存漁場深緑部へと継続する未開漁場の開発を行ない、最終的には漁場図を作成し、似て能率的操業と資源の高度利用に供するため、調査船「図南丸（１５９.３１ｔ４００HP）」を使用して第１次は１９６８年１１月８日から１２月７日まで、大九ソネ、西大九ソネ、宮古ソネ、尖閣列島海域の水深２００米線内外の調査を実施し、第２次は１９６９年４月１７日から５月１日まで、石垣島、西表島周辺の２００米線以浅海域の調査を実施した。

## 調査概要

### (1) 第１次調査

この調査では深海１本釣漁具（長さ５００ｍ、８～１０本鈎付）を使用し手動式巻揚機による投揚縄を行ない、漁種、漁獲率を調査し、魚群状況、海底状況等については、魚群探知機で記録調査を行った。なお漁場による魚種組成、釣獲率についてみると

イ、大九ソネ、西大九ソネ、宮古ソネ上及びその縁辺漁場では、ヒメダイ、レンコダイ、ハナフエダイ、ハタ類、ハマダイ、チカメキントキ、アオダイ、ハチジョウアカムツ、カンパチ、オオクチイシチビキ等の魚種組成で釣獲率１％～１５.５％であった。

ロ、尖閣列島漁場では、タルミ、レンコダイ、アオダイ、オオヒメ、ハナフエダイ、ハタ類、ハマダイ、オオクチイシチビキ、シマアオダイ等の魚種組成で、釣獲率２％～１７％であった。

ハ、尖閣列島漁場の赤尾岐付近、魚釣島東方（約１５浬）ではハマダイ、アオダイ主体の釣獲率１０～１７％の好漁場があった、なお魚群探知機にも魚群の映像が顕著に記録された。

### (2) 第２次調査

この調査では水深１００ｍ～２００ｍ内外の深さについては深海１本釣漁具を使用し、１００ｍ以浅は片天秤式漁具を使用して魚種調査と魚群探知機による魚群並に海底状況等の調査を行った。またフエフキダイ類のうち主要なものを種苗生産研究用の採卵のため船艙内に生かし、八重山支所に提供した。

この調査では１地点を１～２回の操業でしかも短時間であるため、釣獲率は極めて低く、全く釣獲されないところもあった。

水深に対する魚種別棲息分布は、フエフキダイ類は１００ｍを最深にそれ以浅にみられ、５０ｍを境に多棲しているのが認められた。フエダイ類、特にマチ類はヒメダイが７０ｍからみられ、オオヒ

メは９０ｍの深さから釣獲されている、ハマダイは、１２５ｍから確認されているが、これは恐らく１００ｍを最浅域として、それ以深に棲息し、２５０ｍを境に多棲しているようである。メイチダイ類（通称シルユー）は１８０ｍまで確認されているが、これの多棲水深は大体１００ｍを境に５０ｍまでだろうと釣獲状況から考えられる。なおこの漁場調査で釣獲された魚種はおよそ５０種に近く釣獲確認された。

(1)

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1 ハナフエダイ | 14 セグロホシフエダイ | 27 イサゴハタ | 40 オオグチイシチビキ |
| 2 サザナミダイ | 15 ヒメダイ | 28 マダラハタ | 41 カンモンハタ |
| 3 メイチダイ | 16 ミナミフエダイ | 29 ホウキハタ | 42 イシモチ |
| 4 ヨスジフエダイ | 17 タテフエダイ | 30 キツネフエダイ | 43 ツチホゼリ |
| 5 カンパチ | 18 アオチビキ | 31 エボシフエフキ | 44 イシフエダイ |
| 6 ヒメフエダイ | 19 タテジマフエフキ | 32 シマアオダイ | 45 ハマダイ |
| 7 ハマフエフキ | 20 ミナミクチビ | 33 バラフエフキ | 46 チカメキントキ |
| 8 ヒラマサ | 21 フエフキダイ | 34 ヤマトカマス | 47 ニセクロホシフエダイ |
| 9 アミフエフキ | 22 イットウダイ | 35 ニジョウサバ | |
| 10 シマクチビ | 23 エビスダイ | 36 ツムブリ | |
| 11 ヤマブキクチビ | 24 グソクダイ | 37 シロダイ | |
| 12 オオヒメ | 25 バラハタ | 38 ノミノクチ | |
| 13 ナガクチビ | 26 トガリエビス | 39 イシガキハタ | |

(2) 生態及び採卵用として、メイチダイ、ハマフエフキ、アミフエフキ、シマクチビ、ナガクチビ、フエフキダイ、ヨスジフエフキ、ミナミフエダイ等八重山支所に活魚として提供した。